



# 鉢子ジオパーク推進 市民の会ニュース

第77号  
2017年11月16日

連絡先 茂木  
TEL 09089472869  
<http://choshi-geopark.com/>

工藤  
忠男

今年の全国大会は10月25日～27日までの3日間、男鹿半島・大潟ジオパークで行われました。大会のテーマは「あしたへ」で、次につながるジオパークを意識した大会でもありました。私の参加した「分科会」「ジオッター」は市民の会の方が多く参加しました。そこで、他の方が詳しく書いてくれますので。交流会のアトラクションや旅館の方から紹介された男鹿の民俗芸能「ナマハゲの太鼓ショウ」について感じたことを少し書きます。

ナマハゲの行事は毎年、大晦日の晩に男鹿半島全域で行われます。山の神の使者であるナマハゲは悪事に訓戒を与え、厄災を祓い、豊作・豊漁・吉事をもたらす者として「怠け者はいねが」と練り歩き、各家庭を巡る民俗行

「ナマハゲ太鼓ショウ」は、この地元の民俗行事に太鼓を加え大晦日だけではなく、いつでも見られるようになってしまったが。交流会のアトラクションとして見ることが出来ました。旅館へ着くと旅館の方が、すぐにナマハゲ太鼓ショウはどうですか、と誘ってくれ、夕食後にほとんどの泊まり客がこのショウを見に行つたようです。

ナマハゲのショウをやっている人は合計15人。そのうち女性は4人との事でした。ステージに上がる人は女性1人を含み、その内の5人、交代でやっているようです。年齢的には若く、年齢的には若い人で、民俗芸能が若い人に受け継がれているのが良く分かります。ステージの太鼓は迫力があり、まさに



地のつくものはジオパークと言われますが、「地酒」や「地元の民俗芸能」もジオパークです。また、ジオパークの目的は「まちおとし」にある、ということを聞くことがあります、最もこれだけではないでしょうが。しかし、今回の大会のテーマが「あしたのへ」です、明日へつながるものを感じました。

## 全国大会に参加して

夕一が観客までも巻き込んでの司会をして、愉しめた満ち足りた時間でした。

もあつても面白いし  
また、以前から考え  
ていましたが、地元  
のスイーツを食べな

な起伏があり浜の植物、ツリガネニンジン、ウメバチ草、カララナデシコゝゝが

有名なゴジラ岩は思つたより小さくてがっかりでした初め

がらジオサイトを巡る女子会ジオツアーもあっても良いかなとも考えました。 決定26日は午後3時半バスで男鹿一景色の良い寒風山へ35.5mの火山、一面芝生で覆われ歩いてみたい美しさ。頂上からは大パノマラが見られ男鹿市の水源を賄う地下水がわき出るそうです。

ここから男鹿温泉の宿へ、交流会は市長も挨拶、翌日8時半出発一路入道崎へ、入道崎灯台は白黒の縞模様で日本の灯台50選に入っています。周りはやはり芝生で広々としたなだらか

な起伏があり浜の植  
物、ツリガネニンジ  
ン、ウメバチ草、カ  
ワラナデシコゝゝが

有名なゴジラ岩は  
思ったより小さくて  
がっかりでした初め  
ての男鹿半島お天気

咲いていました。これから船に乗つて海からの半島見学です。漁船なので一艘に10人ずつ動きだすと波も風もなく蒸氣船の音にガイドさんのマイクは聞こえず船頭さんが上に登つて大声で説明してくれました。今まで経験したことがない絶景、陸からは見えない奇岩があちこちにおもわず歎声を上げてしましました。(滝は大滝、白糸の滝、門前大滝、海からしか見られない光景です。岩もカソカネ洞大桟橋、孔雀窟、蝙蝠窟2か所は中まで入り塩瀬崎で下船、昼食後館山崎へ、緑と白の凝灰岩(グリーンタフ)を目の前で見られ感激しました。2000万年前の火山の噴出物大量の火山灰や火山礫が積み重なつてできた岩石の一部が変形して緑色になっている所です。

有名なゴジラ岩は  
思ったより小さくて  
がっかりでした初め  
ての男鹿半島お天気

10 of 10